

います。

今、政府の助けを借りたり、借金を帳消ししなければ倒産する企業は当時の幕府や藩と同じです。無理やり支えてもどうにもなりません。自由主義経済の原則に基づき、企業は自己責任で経営をすればよいし、企業の存続は市場が決めるべきで政府が決めるべきではありません。政府がこのような具体的な企業の問題に手を出すと黒いカネが動きます。公的資金を銀行に入れたとき、銀行から多くのカネが一部の政治家や政党に渡ったと言われています。

私は、日本の経済の主体は債権放棄を受けたり公的資金を入れてもらった銀行やゼネコンやダイエーではなく一人一人の国民（＝市民）であり、ここに政策の焦点を当てるべきと思います。

今の日本は高度に発達した資本主義社会です。つまり成熟した市場型自由主義経済社会であり、消費経済型市民社会であります。そこには大資本とともに消費の主体たる自立した市民（一人一人の国民）がいます。今の経済不況はデフレ現象に現れているように供給より需要の少ない消費不況です。その原因は消費の主体たる市民に消費に回せるカネがないことです。

しかるに政府の政策は供給側の大企業にばかりに焦点を当て、消費の主体たる国民からは課税最低限を引き下げたり、医療費の負担料を引き上げたりしてもっとカネを取ろうとしています。これでは益々不景気になります。日本経済を活性化させるために私は消費税の撤廃と金利の引き上げを提案いたします。

1. 消費税の撤廃      自由主義経済だということで自由に経済競争を行えばカネは勝者に一極集中し、一握りの金持ちと多くの貧乏人を作り、市場から消費者を消し去りやがては自由主義経済そのものを崩壊させます。これを避けるために労働法や独禁法等で弱者を保護し、且つまた勝者より所得税や相続税を累進的に多く取り敗者に回したりしてきたわけです。これらの政策等により自立した消費の主体たる市民を守り消費経済が活性化し自由主義経済が繁栄してきました。

しかるに消費税は今日、明日の生活にも困っている貧乏人からも税を取る酷税の最たるもので市場から自立した消費者を放逐し、自由主義経済体制そのものを崩壊させかねません。税は担税力に応じて払うべきです。つまり金持ちほど多く払うべきです。そうすることが自由主義経済体制を活性化させて存続させ、結果は金持ちほど得します。

このような観点から所得税の課税最低限の引き下げや医療費の負担料の引き上げも間違っており、むしろ逆に社会保障は厚くし、安心して皆ながおカネを使えるようにするべきです。そうすればおカネが回り景気は良くなります。

今の不況は消費不況といわれています。景気浮揚のためには消費を抑制している消費税を直ちに廃止するべきです。

2. 金利の引き上げ      小泉内閣は借金の多い大企業を助けようと超低金利を続けており、且つ貿易増進とインフレを狙って円安誘導を目論んでいます。これは間違いで、むしろ逆に金利を引き上げて世界のカネを日本に向かい入れ、円高にするべきです。

米国が金利を下げた今、300兆円を超えるといわれている世界の投機資金は行き場を失っています。今、日本が金利を上げ、異常な「ゼロ金利」から普通の金利にすればこのカネは日本に向かい、その多くは日本の株式市場に流れ日本の株価を押し上げ、日本は1990年代の米国のように好景気になります。国債を増発したり、増税をしなくてもこの世界の資金を使えば財政再建もできます。但し、政府は改革を推し進めて民間で出来るものはすべて民間にまかせ、高福祉社会を目指しながらもできるだけその財政規模を小さくし「小さな政府」にすべきです。

円高は国の財産を増やし国民の購買力をあげます。収入が増えたのと同じです。逆に円安は国の財産を減らすことです。国の財産を守る立場の経済財政担当大臣が円安によるインフレを標榜しているのは国や国民の財産を減らすことを目指している訳で、まさに犯罪的であり、非国民そのものです。会社の経理部長が会社の財産を減らそうとすればどの会社でも即、首です。

円安もインフレも国民の購買力を引き下げます。これでは不況はますます深刻化するだけです。まともな金利を払えないような大企業は幕末の幕府や藩と同じでもうその役割は終わっていますから、早く市場から去ってもらい新しい企業を育てるべきです。

私はコンピューターを使うときそのソフトが全て米国製で日本製の無いことに工業国日本の将来を考えると暗澹たる思いです。規制を撤廃し、世界中から資金呼び寄せ、一人一人の国民が主体となる国作りを行うことにより、国民の活力を引き出し、1990年代に米国がやったように新しいこのような産業を育てるべきです。今、世界でこれをやれる条件のある国は日本だけです。金利を上げて普通の金利にしさえすれば良いのです。

2月12日例会： 世界理解月間 堀川国際奉仕委員長

卓話「ペイオフ」石川勝行会員

2月19日例会： 卓話 西山 斉会員・笹原壯玄会員

2月26日例会： 夜例会 於三条ロイヤルホテル 点鐘午後7時

卓話「目の成人病」としみ眼科医院院長 山口淑美様

3月5日例会： 卓話「歯の成人病について」元新潟大学歯学部歯科保存科名誉教授・歯学博士

原耕二様

3月12日例会： 卓話

3月19日例会： 会長エレクト研修報告会 梨木会長エレクト

3月26日例会： 夜例会 三条ロイヤルホテル 点鐘午後7時

4月2日例会： ロータリー雑誌月間

4月9日例会： 卓話

4月16日例会： 卓話

4月23日例会： 卓話「泌尿器科の成人病」平岩医院院長 平岩三雄様

4月30日例会： 夜例会 三条ロイヤルホテル 点鐘午後7時